

# 「コマ劇場があった場所」の変遷

## 大村の森・鴨場池

林と鴨場池からなる大村邸があり、「大村の森」と呼ばれていました。池では「本溜」にいるアヒルが鴨を「引堀」に誘導し、そこから飛立つ鴨を網で捕獲する猟が行われていました。



大村の森・鴨場池の地図(明治43年)

地図には概ね100m四方の鴨場池が表示

(出典)「地図で見る新宿区の移り変わり 淀橋・大久保編」(新宿区)

## 鴨場池の仕組み(浜離宮恩賜庭園の案内)



(出典)「鴨場ガイドブック」(浜離宮恩賜庭園・東京都公園協会)

浜離宮恩賜庭園には現在2つの鴨場池が残っている。

## 鴨場池の風景(濱野邸・新宿)



(出典)「豊多摩郡の内藤新宿」(新宿区図書館編)

多い時には数千羽の鴨が飛来したという。

## 鴨猟の風景(黒田邸・品川)



(出典)「豊多摩郡の内藤新宿」(新宿区図書館編)

又手網で鴨を捕獲する構えをしている。

## 菊座(歌舞伎劇場)・国際百貨店計画と産業文化博覧会の開催

学校跡地への歌舞伎劇場・百貨店設置計画が頓挫し、昭和25年に博覧会が開催されました。歌舞伎劇場はできませんでしたが、「歌舞伎町」という町名誕生のきっかけとなりました。

## 国際百貨店のパース図



(出典)鈴木喜兵衛「歌舞伎町」

前提の外資導入計画が崩れ、実現しなかった。

## 懸賞付前売り券発売広告(昭和25年)



(出典)「週刊新宿画報」(昭和25年1月21日)

文化住宅が自動車より下だったり、景品が時代を感じさせる。

## 博覧会のアーチ(昭和25年)



(出典)「週刊新宿画報」(昭和25年4月29日)

新宿駅を降りて正面へ歩くと、色鮮やかなアーチが出迎えた。

## 全会場の風景(昭和25年)



(出典)「週刊新宿画報」(昭和25年4月29日)

平和の風をはらんで全会場を見守る記念旗

## 呼物の恐竜模型(昭和25年)



(出典)「週刊新宿画報」(昭和25年4月22日)

時折尾を振り奇声をあげる竜。高さ9m・全長15m

## 明治30~40年代

## 大正~昭和20年

## 昭和23~昭和25年

## 昭和31年以降

## 尾張屋の原・府立第5高等女学校

尾張屋が買収。池が埋立てられ、「尾張屋の原」と呼ばれていました。「府立第5高等女学校」が大正9年に開校し、女学生が通う街でしたが、戦争で学校は全焼してしまいました。

## 尾張屋の原の地図(大正5年)



(出典)「地図で見る新宿区の移り変わり 淀橋・大久保編」(新宿区)

池は埋立。周辺も含めて区画整理

## 府立第五高女の地図(昭和6年)



(出典)「地図で見る新宿区の移り変わり 淀橋・大久保編」(新宿区)

大正8年、池の埋立地(旧コマ劇場)に府立第5高等女学校が建設

## 府立第5高女 設立の碑



歌舞伎町弁財天の前に建っている。

## 府立第5高女全景(昭和10年頃)



(出典)尾張屋土地ホームページ

現都立富士高校

## コマ劇場・新宿東宝ビル(ゴジラビル)

昭和31年に「コマ劇場」が開業し、興行街の中心施設になりました。コマ劇場(平成20年取壊)は、平成27年にゴジラヘッドがある高層ビルに生まれ変わりました。

## オープン直後のコマ劇場(昭和32年)



(所蔵)新宿歴史博物館

昭和31年12月28日に開場

## 靖国通り越しにコマ劇場を望む(昭和36年)



(所蔵)新宿歴史博物館

## 新宿東宝ビル(ゴジラビル)



平成27年にゴジラヘッドがあるビルとして再生

## ゴジラヘッド



初代ゴジラと同じ高さ(身長50m)